

沖尚 決勝進出



県大会
準決勝

宜野座に13—2



沖繩尚学—宜野座 5回沖尚1死三塁、中越えの適時三塁打を放つ赤嶺謙 19日、コザしんきんスタジアム

沖繩尚学
0000200000
0002000000
宜野座

(延長10回) 011 / 213

(沖) 上原康、久保、山城大—伊良部
(宜) 知念、伊保、漢那—眞貫
▽三塁打 赤嶺謙(沖)、城間(宜)
▽二塁打 久保、上原康(以上沖)

第96回全国高校野球選手権沖縄大会は19日、沖縄市のコザしんきんスタジアムで準決勝を行い、第1試合で沖繩尚学が延長戦の末に13—2で宜野座を破って2年連続12度目の決勝進出を決めた。

宜野座は四回に城間公希の右中間を破る三塁打で1点を先制すると、大嶺稀央の適時打で1点を追加した。沖尚は直後の五回に赤嶺謙の中越えの三塁打で1点を返し、与那覇廉の犠飛で同点に追いついた。試合は2—2のまま延長戦に突入。十回に沖尚は久保終人の右前打で勝ち越すと、淵上大蔵の中前打などで大量11点を奪った。最後は六回からマウンドに立ったエースの山城大智が宜野座打線を抑えて勝利をつかんだ。

決勝は20日午後1時から行われ、沖尚は準決勝第2試合の糸満—浦添商の勝者と対戦する。

詳しくは20日付本紙で

先発で登板し、力投する宜野座の知念諄也（左）と沖縄尚学の上原康汰（右）



仲間の勝利を信じて声援を送る沖縄尚学スタンド



少年野球チームも含め、地元から多くの応援が駆けつけた宜野座スタンド